

授業科目名	教育社会学I
科目番号	CB25311
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB木1,2
担当教員	徳永 智子
授業概要	教育社会学は、教育に関わる事象を社会現象としてみて、社会学の視点と方法で研究する学問である。本講では、授業前半の「教育社会学基礎論」ではとくに「個人と社会の関係」について、授業後半の「現代社会における人間形成」では、変動する社会における人間形成について観察したり考察したりする場合の見方・考え方について概説する。
備考	社会教育主事（2012年度までの「教育社会学」に対応する。） 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	教育社会学や関連領域の基本概念および理論を学び、様々な教育事象を社会的な観点から分析する力を身に着ける。実体験をもとに語られやすい教育について、実態をきちんと把握し、当たり前のものの見方を問い直すことで、教育と社会とのかかわりについて検討していく。
授業計画	<p>教育社会学や関連領域の基本概念および理論を紹介しつつ、家族、学校、階層と教育、ノンフォーマル教育、教育問題、マイノリティと教育など、教育社会学が扱う幅広いテーマへの理解を深めていく。前半は、教育社会学の基礎を学び、後半はグローバリゼーションと教育のテーマを主に扱う。事前に指定された文献を読み、授業に参加することを義務とする。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 教育社会学へのアプローチ 第3回 家族と社会化 第4回 学校教育と教師 第5回 階層と教育 第6回 若者文化とメディア 第7回 教育問題 第8回 マイノリティと教育 第9回 ジェンダー・セクシュアリティと教育 第10回 前半部のまとめ 第11回 グローバリゼーションと教育 第12回 グローバル化と言語教育 第13回 留学生の国際移動 第14回 SDGsと教育 第15回 移民と教育:多文化化する日本 第16回 移民と教育:越境する子ども・若者 第17回 移民と教育:家族 第18回 移民と教育:学校 第19回 移民と教育:ノンフォーマル教育 第20回 後半部のまとめ</p>
成績評価方法	授業への貢献・積極性、発表、課題、レポートなどを総合的に判断し、評価する。
学修時間の割り当て及	

<p>び授業外における学修方法</p>	
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>指定教科書は次の2冊です(必ず事前に用意しておいてください):</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 飯田浩之・岡本智周編(2018)『教育社会学』、ミネルヴァ書房. 2. 額賀美紗子・芝野淳一・三浦綾希子(2019)『移民から教育を考える』ナカニシヤ出版. <p>以下は、参考文献です:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『教育社会学研究』東洋館出版社 2. (2010)『教育の社会学 新版:〈常識〉の問い方、見直し方』有斐閣 3. (2018)『教育社会学事典』丸善出版 <p>その他、参考文献は授業中に指示する。</p>
<p>オフィスアワー等(連絡先含む)</p>	<p>水曜11:30-13(事前のアポイントをとること) tomokot★human.tsukuba.ac.jp(★を at に)</p>
<p>その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p>	<p>本授業は、学生による発表やmanaba上での意見交換等も取り入れるので、学生の積極的な参加が求められる。</p>
<p>他の授業科目との関連</p>	
<p>ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)</p>	
<p>キーワード</p>	<p>社会化, 学校, カリキュラム, 教員, 学校文化, 生徒文化, 家族, ノンフォーマル教育, マイノリティ, グローバリゼーション</p>